凄い狐になった一般人

ギルガメッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
凄い狐になった一般人

【Ｎコード】
Ｎ３７５５ＢＡ

【作者名】
ギルガメッシュ

【あらすじ】
ある日俺は死んでしまいそれが神のミスだと知る。そして「願いを叶えて結界師の世界に転生させてやろう」と言われた。そして願いを言い転生した。だったのだが願った願いは捻じ曲がって叶い姿は何故か人間ではなかった。今一つだけ言わせてくれ。どうしてこうなった。
作者は初心者です。
某狐の小説を読み書いてみたいと思いました。
この作品は処女作＆駄文ですしかも転生＆チート（笑）です。

それと更新速度は亀です。
それでも良い方はご覧ください。

転生の日（前書き）

はじめましてギルガメッシュです。

かなり読みにくく面白くないかもしれませんが、温かい目で見てください。

感想にここを変えたほうがいいなどの事を書いてくれるとうれしいです。

転生の日

俺の名前は…まあそれは置いといて今俺の現状を報告したいと思う。
前後上下左右・白
何故こんな事をしているかと言うと絶賛現実逃避中だからなのだ。
とりあえず前で土下座している女性？に声をかけよう。

「何故土ｇ「ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい」
はい？」

なぜかひたすらずっと謝っているのだ

「とりあえず落ち着いてください」

「わかりました」

顔は二十代の女性だ。
ただ違うのは羽が生えていることだ。
最近の女性は羽が生えているのか？

「とりあえずあなたは誰ですか」

「モンスターエンジンの？」

「違います本物です。そして懐かしいネタですね」

「神様？へぇー。だったら何で俺の前に？」

「何故驚かないのですか？」

「驚いてるよ。顔に出ないだけだ」
「質問に対しての答えはあなたが死んだからです」
「はい？」
「私のミスで死んでしまったので転生させるために呼んだのです」
「はいはいテンプレテンプレ。ところで能力くれんの？」
「はい。一つだけそれとなのはの世界にいってもらいます。」
白い魔王の世界か
「何で一つだけ？」
「私の力では限界です」
「しょうがないアーチャーのステータス・能力をくれ」
「全部は無理なので何か一つだけになりますがいいですか？」
「しょうがない。いいよ。」
「ありがとうございます。じゃあ逝ってらっしゃい」
「おいお前漢字が違うだろ」

「それは無視してっと……あ…間違えた」
おいどうなるんだよ俺ぇーーーーーーー

転生の日（後書き）

一回目から飛ばしてしまいました

終わりまでかけないかもしれませんが温かい目でご覧ください。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n3755ba/

凄い狐になった一般人

2012年1月9日20時46分発行